

《 競 技 注 意 事 項 》

《新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について》

- ・参加関係者の皆さんは、事前に神奈川陸上競技協会のHPに掲載されている「新型コロナウイルスの感染リスクを軽減させた競技会運営に向けた対応について」（競技者・チーム関係者向け）の内容を必ず確認してください。
 - ・競技会当日の提出書類について
 - ①一般・大学生は「体調管理チェックシート」を提出。
 - ②中学生・高校生は顧問が「体調管理チェックシート」を確認・保管し「参加状況報告書」を提出。
- ※これらの書類の提出がされなければ競技場への入場及び競技会への出場はできません。

1. 規則について

本記録会は、2021 年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場が開門していない場合は、絶対に場内に入らないこと。開門時間 7:30（予定）

競技場は、全天候舗装である。トラック走路の厚さは13mm、フィールド助走路の厚さは18mmである。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、競技規則第143条を厳守すること。

競技用シューズの靴底については、WA規則第143条（TR5：シューズ）を守ること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での招集後競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

競技に支障のない範囲で主競技場のバックストレートを開放する場合がある。その際、競技役員の指示に従い、事故には十分注意すること。

最初の競技開始30分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3レーンは周回練習、5～8レーンはスピード練習、ただし、ホームストレートの7・8レーンはハードル練習とし、4レーンにコーンを設置する。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

競技場以外のいかなる場所でも投てき練習は禁止する。

4. 招集について

招集は現地での最終コールのみとする。招集時刻は、競技日程に記載されたとおりとする。なお、招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。※リレーのオーダー用紙提出は、最初のグループ招集完了時刻1時間前に提出すること。

※棒高跳の招集は競技場ピットで実施する。

5. アスリートビブスについて

アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態（縦16cm、横24cm）で使用し、安全ピンは各自で用意すること。跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。

トラック競技では、腰ナンバー標識を右腰やや後方につけること。

①セパレート種目出場者は配布済みのアスリートビブスと同じ番号の腰ナンバー標識をつける。

②800m・1500m・4×400mR 出場者は、競技者係でレーン番号の腰ナンバー標識を各自で受け取る。

③3000m・5000m・3000mSC 出場者は、競技者係で特別ナンバーカードと腰ナンバー標識を各自で受け取る。

※腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後の返却はない。

6. トラック競技について

トラック競技は、すべて電気計時とする。

1回の不正スタートで失格とする。

※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告（イエローカード）を与えられる事がある。

競技運営上、次の制限タイムを設定する。(残り1週の通過タイム)

男子 5000m (19分以内) 3000mSC (12分以内)

女子 3000m (12分以内) 5000m (23分以内)

7. フィールド競技について

フィールド競技の試技順は、プログラム記載の順番に従い行う。走幅跳・三段跳・投擲種目については、3回試技とする。

跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(荒天の場合は、別途指示する。)

	種 目	練 習	バーの上げ方											
男子	走高跳 (1)	1m80 又は 2m00	1m85	1m90	1m95	2m00	2m03	以後 3cm						
	走高跳 (2)	1m65 又は 1m85	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	以後 3cm						
	走高跳 (3)	1m60 又は 1m75	1m65	1m70	1m75	1m80	1m83	以後 3cm						
	走高跳 (4)	1m40 又は 1m60	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m68	以後 3cm					
	棒高跳 (1)	3m50 又は 4m30	3m60	3m70	3m80	3m90	4m00	4m10	4m20	4m30	4m40	4m50	4m55	以後 5cm
	棒高跳 (2)	2m60 又は 3m50	2m70	2m90	3m10	3m20	3m30	3m40	3m50	3m55	以後 5cm			
女子	走高跳 (1)	1m35 又は 1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	以後 3cm					
	走高跳 (2)	1m15 又は 1m30	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	以後 3cm				
	棒高跳	2m10 又は 2m60	2m20	2m30	2m40	2m50	2m60	2m70	2m80	2m90	3m00	以後 5cm		

※走幅跳の助走路は、(A) はトラック側、(B) はスタンド側とする。

※男子三段跳の踏切板の位置は、(A)・(B) は砂場より 11m00、(C) は 12m00、(D) は 13m00 に設置する。

※女子三段跳の踏切板の位置は、(A)・(B) 共に 9m00 に設置する。

8. 用具について

棒高跳のポール・砲丸・円盤・やり・ハンマーは各自持参したものを、各競技開始 90～60 分前までに検査を受けて使用することができる。

9. 抗議について

競技規則 146 条にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は競技者に代わる責任者が抗議申立書と預託金 10,000 円を総務に提出する。(正式アナウンス後 30 分以内とする。)

10. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、できるだけ早く招集所競技者係に申し出ること。

11. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則第 144 条)

12. その他

- ・競技場及び競技順序を確認すること。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、自分たちで持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、密にならないようにし更衣のみに使用すること。各団体の控室のように使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は拍手のみとし声を出しての応援は禁止とする。
- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへの立ち入りを禁ずる。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。